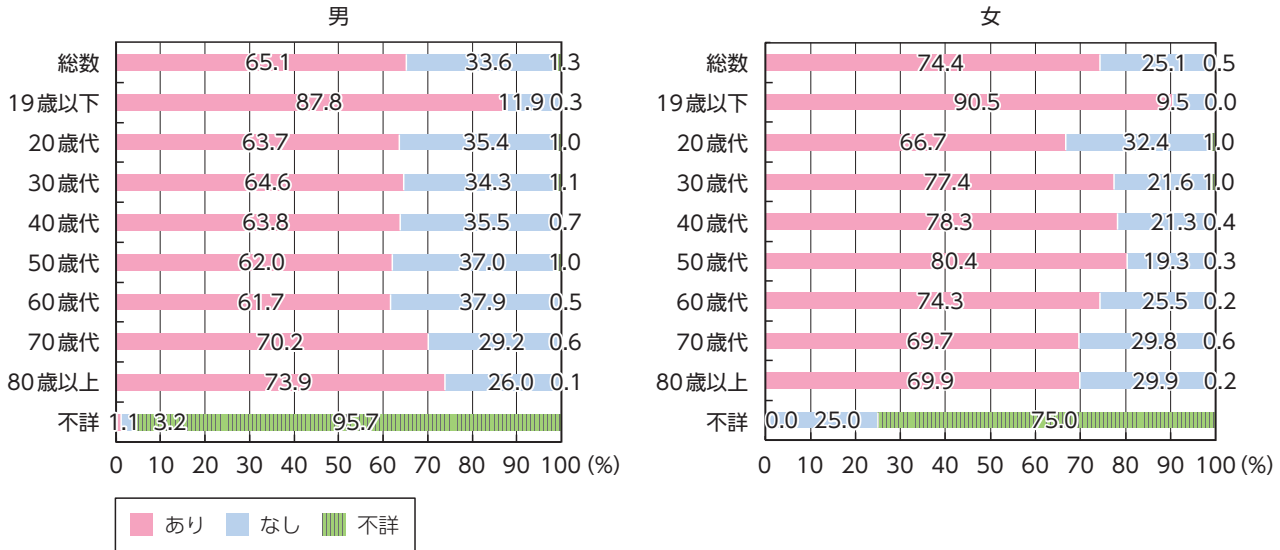


7 同居人・配偶関係別の自殺の状況

平成27年における同居人別の自殺の状況について、自殺統計によれば（第1-33図）、男

女とも、全ての年齢階級で、同居人「あり」が多くなっている。

第1-33図 平成27年における同居人の状況別自殺者数の構成割合



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

次に、平成26年における配偶関係別の自殺死亡率の状況をみると（第1-34表）、男女とも「有配偶者」は全ての年齢階級で各年代別の総数よりも低くなっている一方、「未婚」、

「死別」、「離別」は各年代別の総数よりも高くなっている。特に、男性の「離別」が高くなっている。

第1-34表 平成26年における配偶関係別の自殺死亡率の状況

		男					
年齢階級	総数 ¹⁾	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	
総数 ²⁾	31.6	27.5	25.4	35.3	36.6	36.0	
有配偶者	21.5	11.1	12.0	18.6	24.0	26.0	
未婚	37.5	31.1	38.2	57.2	61.3	85.0	
死別	64.7	—	74.7	81.1	75.0	63.7	
離別	127.9	124.2	125.7	155.2	123.2	116.4	

		女					
年齢階級	総数 ¹⁾	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	
総数 ²⁾	13.1	10.2	10.6	13.4	12.8	16.3	
有配偶者	9.9	4.2	5.6	9.0	9.6	13.4	
未婚	13.4	11.7	18.2	21.8	27.2	18.9	
死別	19.1	—	25.2	33.6	14.2	19.1	
離別	32.6	42.1	33.3	35.3	29.3	31.6	

注：1) 総数には15～19歳及び年齢不詳を含む。

2) 総数には配偶関係不詳を含む。

資料：厚生労働省「人口動態統計」再集計及び国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集（2015）」より厚生労働省自殺対策推進室作成